

「人に道を訊きやすい人と訊きにくい人がいるね」  
 「いますね」  
 「訊きやすいタイプの代表といえは笑福亭鶴瓶だね」  
 「たしかに。あの人はオチャメな感じだから声を掛けやすいですね」  
 「彼は若い頃、京都大学や大阪大学の入学試験の合格発表に行つて、落ちていそうな生徒の脇へ寄つて『あつた！』と合格したふりをして、胴上げさせるという悪戯をした。それがNHKの取材を受けてしまい、夕方のニュース番組に流れてそのニュースを見た親戚から祝電が届き、母親に張り倒されたことがあつたんだつて」  
 「しそうですね、彼だったら」

# 先週への回答



「彼は京都産業大学経済学部在学中、教授が教室に入ってくる際、出囃子を鳴らして笑いを取つたり、笠置シズ子隠し子であると触れ込んだりしたこともあるんだつて」  
 「しそうですね、彼だったら。その笠置シズ子って誰？」  
 「彼は1974年に結婚。仲人の師匠の笑福亭松鶴（6代目）はスピーチで『ウチの弟子は十三人いてまっけど、こいつが一番アホだ。お終い・・・』とだけ言い残してそのまま披露宴会場を後にしたんだつて」  
 「師匠も師匠ですねえ」  
 「いつもニコニコして、しまりのない男と思われていた彼が、TVカメラに股間を押し付けた末にスタジオから退場させられた事件を起こしたことがあつた



「そりゃあ、やりすぎですね、何でそんなことしたんですか？」  
 「リハーサルで自分のギャグに担当プロデューサーがごうまんな態度でケチをつけたのに反発したからなんだつて。いつも春風駢蕩（しゅんぷうたいとう）のような彼にもカチンとすることがあつたんだよ」  
 「春風駢蕩って？」  
 「だから、春風のようにやさしくて、のどかでうらかな男っていう意味だ。彼と話していると、誰も妙になごんだ気持ちになるって言うから不思議だね」  
 「たしかに『アホ！カス！去ね（帰れ）！何をさらす』なんてふつーの人が言ったらケンカになっちゃうけど、彼が言う春風に頬をなでられたような気分になっちゃうもんですね。いっそ名前も、春風亭駢蕩にすればよかったのに」  
 「いえてる」

